

社会資本総合整備計画 事後評価書 (案)

計画の名称	安全・安心や環境に配慮した公園整備等の推進																						
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)	交付対象	神戸市																				
計画の目標	近年の地域コミュニティの希薄化や環境問題、自然災害の発生等の課題を受けて、地球温暖化対策や地域活性化や生物多様性保全等に配慮した公園整備や、「六甲山森林整備戦略」に基づいて六甲山等の緑地の保全・育成事業を進めていくことで、将来にわたって良好な都市環境を維持するとともに、土砂災害等に対する街の防災性の向上を図る。 ※上位計画における位置づけ：「神戸市みどりの基本計画」第7章. 施策の展開 1. みどりのゾーン ～ 4. ゾーンのつながり																						
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>温室効果ガス吸収源対策や観光振興等を通じて地域活性化に資する都市公園の整備を行い、一人当たりの公園面積17.12㎡ (H27当初) から17.55㎡ (H31末) にする。</li> <li>森林の保全・育成や、緑地の良好な市民利用のために、ハイキング道等の再整備を行い、その距離を1.0km (H27当初) から3.0km (H31末) にする。</li> </ul>																						
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H27当初)</th> <th>中間目標値 (H29末)</th> <th>最終目標値 (H31末)</th> </tr> <tr> <td>① (市民一人当たりの都市公園面積) = (市内の都市公園面積) / (神戸市の人口)</td> <td>17.12㎡/人</td> <td>17.33㎡/人</td> <td>17.55㎡/人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② ハイキング道等の再整備距離</td> <td>1.0km</td> <td>2.0km</td> <td>3.0km</td> <td></td> </tr> </table>						定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	① (市民一人当たりの都市公園面積) = (市内の都市公園面積) / (神戸市の人口)	17.12㎡/人	17.33㎡/人	17.55㎡/人		② ハイキング道等の再整備距離	1.0km	2.0km	3.0km	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																			
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)																				
① (市民一人当たりの都市公園面積) = (市内の都市公園面積) / (神戸市の人口)	17.12㎡/人	17.33㎡/人	17.55㎡/人																				
② ハイキング道等の再整備距離	1.0km	2.0km	3.0km																				
全体事業費	合計 (A+B+C)	1880百万円	A	1754百万円	B	82百万円	C	44百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.3%													

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
令和2年度 神戸市建設事業外部評価委員会	2020/ /
	公表の方法
	神戸市ホームページに記載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H27	H28	H29	H30	H31			
A-1	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	吸収源対策公園緑地事業	しあわせの森等における園路広場、植栽等の整備等	神戸市						1,414		
A-2	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	緑地保全等事業 (六甲近郊緑地保全区域)	緑地保全利用施設の整備 (散策路等)	神戸市						138		
A-3	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	公園事業特定計画調査	海浜公園の整備計画調査	神戸市						6		
A-4	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	都市公園事業	御崎公園 ラグビーワールドカップ関連整備	神戸市						150		
A-5	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	公園事業特定計画調査	東遊園地の整備計画調査	神戸市						6		
A-6	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	緑地保全等事業 (西須磨特別緑地保全地区)	特別緑地保全地区の用地取得	神戸市						40		
小計												1,754				
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
B-1	公園	一般	神戸市	直接	神戸市		公園へのアクセス道路の整備	公園へのアクセス道路の整備	神戸市						82	
小計												82				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
B-1	公園整備(A-1)と一体的に整備することにより、事業の円滑な進捗と公園利用者の利便性が向上する。															
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
C-1	計画・調査	一般	神戸市	直接	神戸市		生物多様性保全計画調査	貴重動植物等の調査・観察 (64.5ha)	神戸市						15	
C-2	計画・調査	一般	神戸市	直接	神戸市		森林保全育成調査 (六甲近郊緑地保全区域)	六甲近郊緑地保全区域の調査	神戸市						29	
小計												44				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
C-1	しあわせの森(A-1)において生き物調査や観察会を行うことにより、都市における身近な生物生息・生育空間として、生物多様性保全に対する市民意識の向上を図る。															
C-2	緑地保全等事業(A-2)の調査を行うことにより、森林の適切な保全や育成を図る。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性の保全等に資する公園の整備を着実に進め、環境学習やレクリエーションの場として活用できるオープンスペースが確保できた。</li> <li>・老朽化したハイキング道を計画的に整備することにより、ハイキング道の安全性及び利便性を向上することができた。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標①： 市民一人当たりの都市公園面積	最終目標値	17.55㎡/人	目標値と実績値 に差が出た要因	・目標を達成した
		最終実績値	17.56㎡/人		
	指標②： ハイキング道等の再整備距離	最終目標値	3.0km	目標値と実績値 に差が出た要因	・目標を達成した
		最終実績値	8.0km		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の環境学習の利用機会が増え、令和元年度にはしあわせの森で計4回のイベント（昆虫観察、ハイキング等）を開催し、約100名の参加があった。</li> <li>・イベント後のアンケートでは、参加者の9割以上の方から回答を頂き、回答頂いた方全員から高評価を得た。</li> <li>・アンケートでは、「植物についての説明を聞きながら歩くことができ楽しかった。」や「普段なじみのない虫にふれることができ楽しかった。」といったご意見をいただいた。</li> <li>・一部のハイキング道をデッキ型構造にすることにより、自然を保全しつつ自然と触れ合える環境を設けることができた。</li> </ul>			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、生物多様性の保全等に資する都市公園の整備を行うため、H27～H31の計画期間終了後も再度整備計画を策定し、継続的に事業に取り組んでいく。</li> <li>・事業の実施にあたっては、国の提唱する「グリーンインフラ」の考え方を取り入れた取り組みを行う。</li> <li>・六甲山森林整備戦略に基づき、土砂崩壊防止施設の設置等、安全・安心に資する緑地の保全を進めるとともに、森林レクリエーションに資するハイキング道の再整備等を引き続き実施していく。</li> </ul>					

# 社会資本総合整備計画

## 神戸市建設事業外部評価委員会 第二回委員会

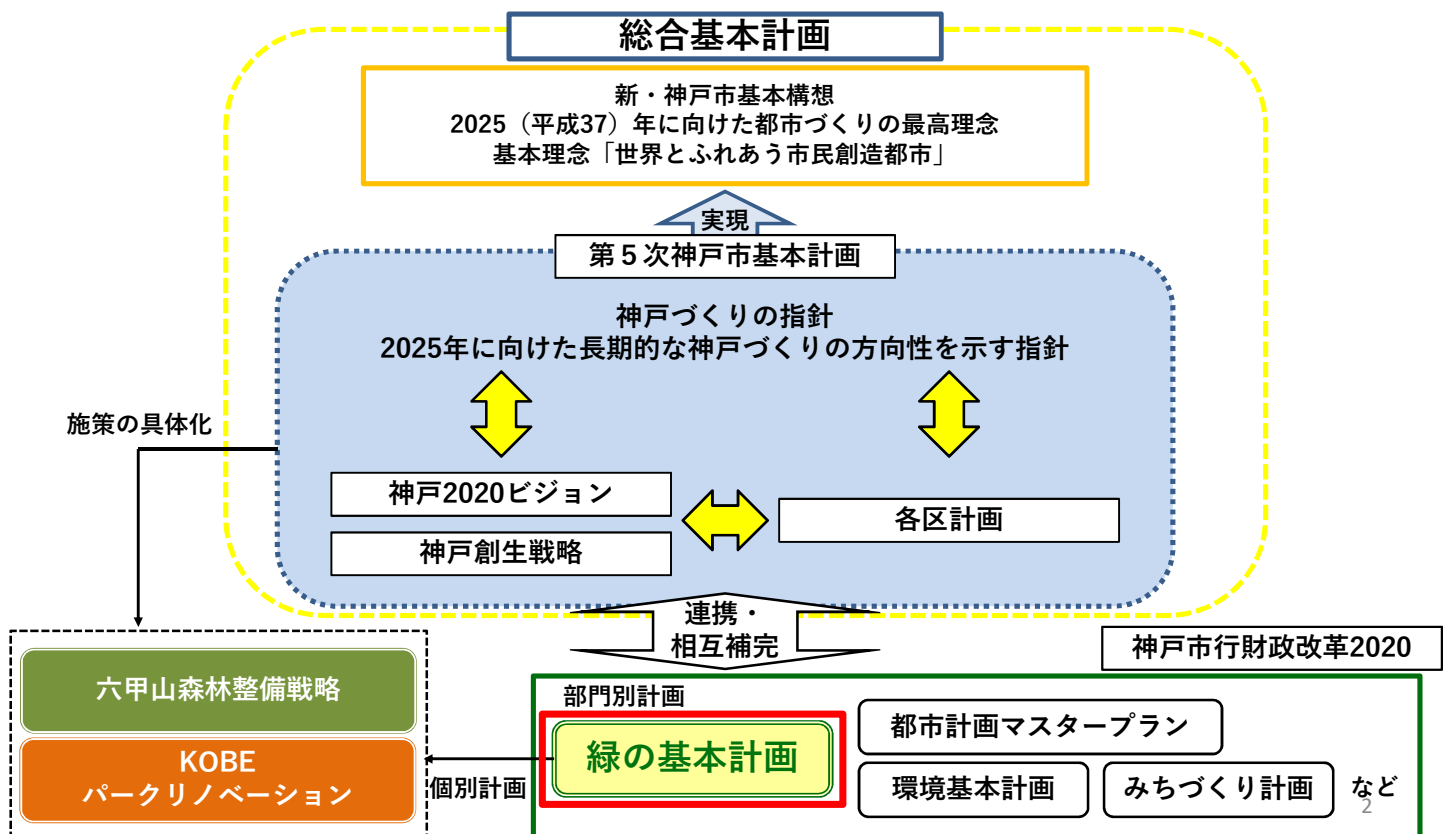
安全・安心や環境に配慮した公園整備等の推進

担当：建設局公園部計画課

1

### 1. はじめに

### 緑の基本計画について



# 1. はじめに

# 緑の基本計画について

## 緑の基本計画の構成

## 緑の基本計画の基本理念



○地域ごとの緑の特徴から神戸市を3つにゾーニングし、各ゾーンの特徴を生かした施策を展開

○3つのゾーンを有機的につなげることで、豊かな水と緑に包みこまれたまちをめざす。

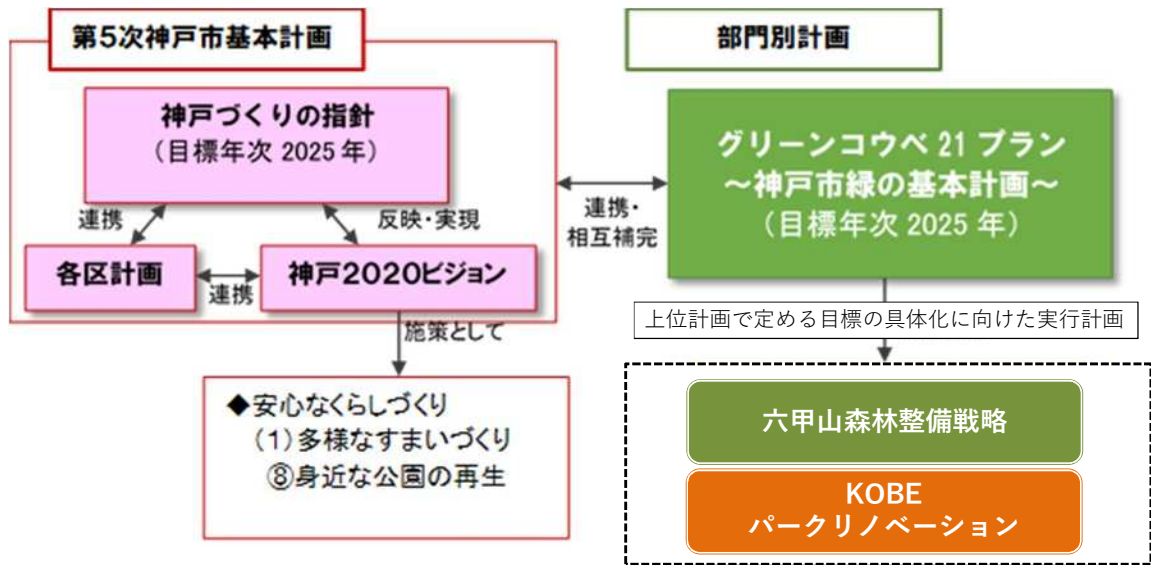


みどり・まち・田園のゾーンを有機的につなぐ「水と緑のネットワーク」のイメージ



# 1. はじめに

# 緑の基本計画について



## 六甲山森林整備戦略

⇒ 森林整備の実施に向けた基本的な考え方

- ① 戦略的ゾーニングによる森林整備の推進
- ② 多様な主体との協働による森林の育成・活用

など

## KOBEパークリノベーション

⇒ 施策を力強く推進するモデル事業

- ① にぎわいのある公園づくり
- ② ストックを活用した公園づくり
- ③ 市民が主役の公園づくり

など

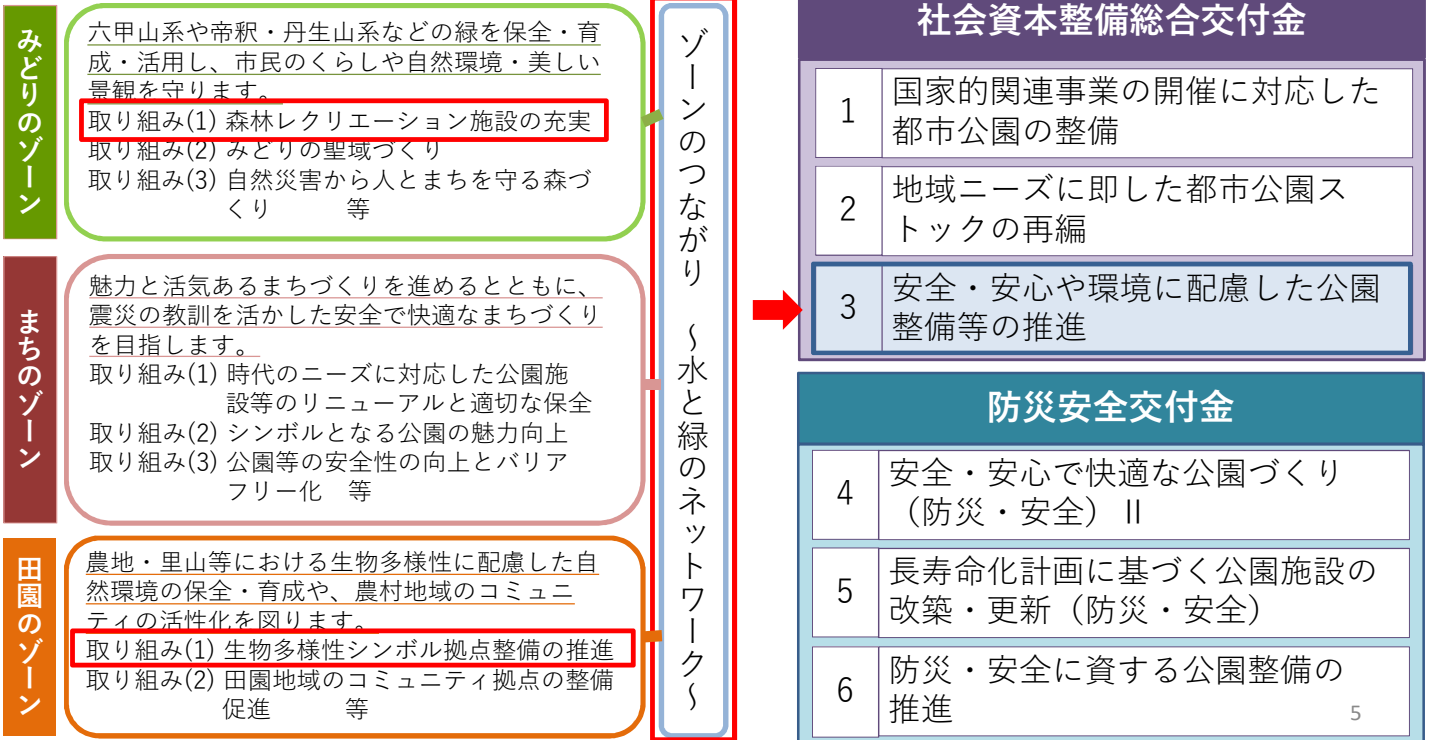
# 1. はじめに

# 緑の基本計画について

施策の展開と具体的な取り組み

対応する整備計画

※     内は本整備計画に対応する取組方針



# 2. 整備計画の内容

## ○計画の名称

社会資本総合整備計画

「安全・安心や環境に配慮した公園整備等の推進」

## ○計画の期間

平成27年度～平成31年度（5年間）

## ○交付対象

神戸市

## 2. 整備計画の内容

### ○計画の目標

近年の地域コミュニティの希薄化や環境問題、自然災害の発生等の課題を受けて、地球温暖化対策や地域活性化や生物多様性保全等に配慮した公園整備や、「六甲山森林整備戦略」に基づいて六甲山等の緑地の保全・育成事業を進めていくことで、将来にわたって良好な都市環境を維持するとともに、土砂災害等に対する街の防災性の向上を図る。

7

## 2. 整備計画の内容

### ○計画の成果目標（定量的指標）

- ①温室効果ガス吸収源対策や観光振興等を通じて地域活性化に資する都市公園の整備を行い、市の一人当たりの公園面積  $17.12\text{m}^2$ （H27当初）から  $17.55\text{m}^2$ （H31末）にする。

※【参考】神戸市都市公園条例における都市公園の設置基準… $20\text{m}^2/\text{人}$

- ②森林の保全・育成や、緑地の良好な市民利用のために、ハイキング道等の再整備を行い、その距離を  $1.0\text{km}$ （H27当初）から  $3.0\text{km}$ （H31末）にする。

※【参考】神戸市のハイキング道全体 …60コース・約 $200\text{km}$

8

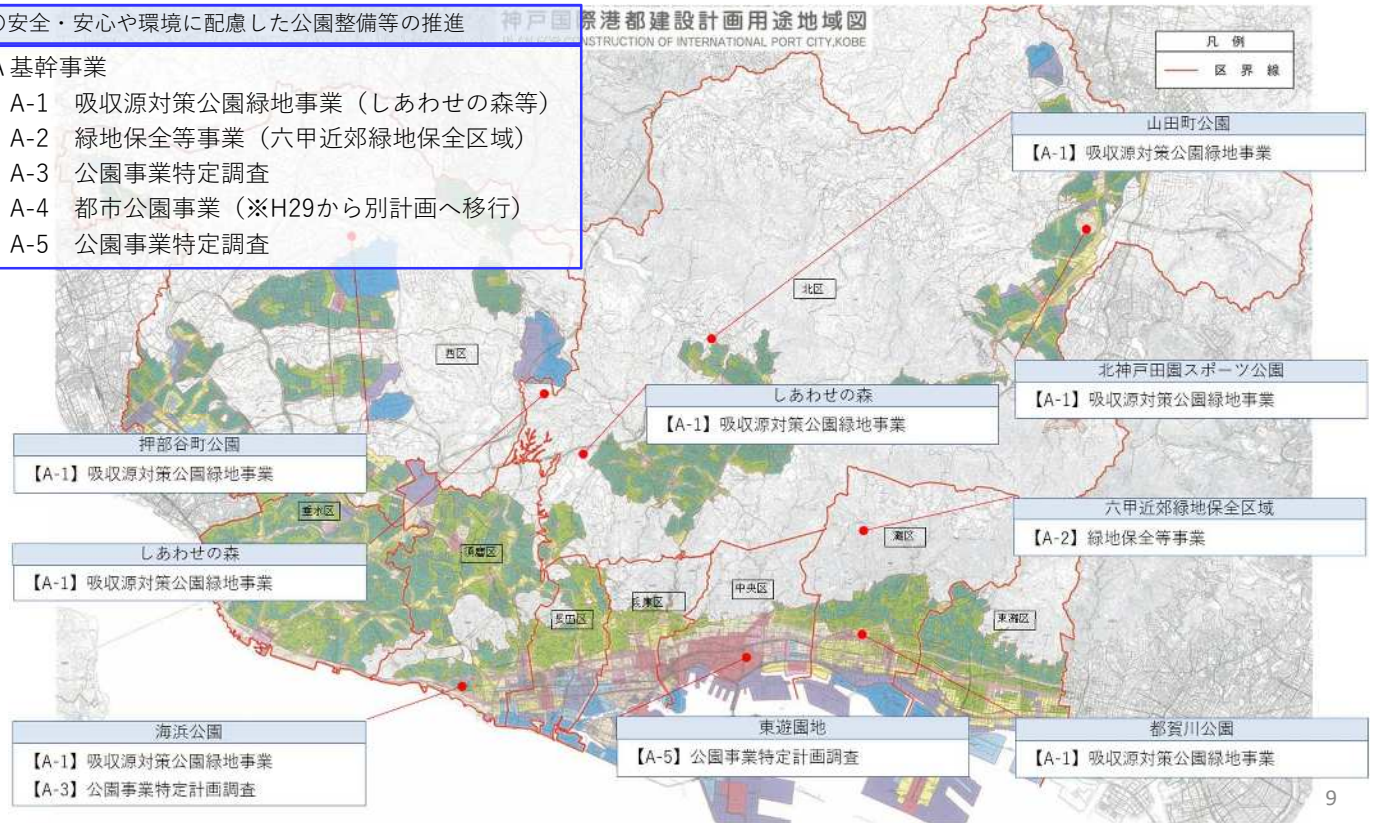


# 3. 交付対象事業

○安全・安心や環境に配慮した公園整備等の推進

## A 基幹事業

- A-1 吸収源対策公園緑地事業（しあわせの森等）
- A-2 緑地保全等事業（六甲近郊緑地保全区域）
- A-3 公園事業特定調査
- A-4 都市公園事業（※H29から別計画へ移行）
- A-5 公園事業特定調査



# 4. 各事業の概要

○安全・安心や環境に配慮した公園整備等の推進

### 【A-1】吸収源対策公園緑地事業（しあわせの森等）

事業者：神戸市 内容：しあわせの森等における園路広場、植栽の整備等  
事業実施期間：平成27年度～平成31年度 全体事業費：914百万円

### 【A-2】緑地保全等事業（六甲近郊緑地保全区域）

事業者：神戸市 内容：緑地保全利用施設の整備（散策路等）  
事業実施期間：平成27年度～平成31年度 全体事業費：94百万円

### 【A-3】公園事業特定計画調査

事業者：神戸市 内容：海浜公園の整備計画調査  
事業実施期間：平成27年度～平成28年度 全体事業費：3百万円

### 【A-4】都市公園事業 ※H29年度から「国家的関連事業の開催に対応した都市公園の整備」に移行

事業者：神戸市 内容：御崎公園（ラグビーワールドカップ関連整備）  
事業実施期間：平成28年度 全体事業費：150百万円

### 【A-5】公園事業特定計画調査

事業者：神戸市 内容：東遊園地の整備計画調査  
事業実施期間：平成28年度 全体事業費：6百万円

## 吸収源対策公園緑地事業とは

### 事業概要

「京都議定書目標達成計画（平成20年3月改定）」に基づく地球温暖化対策の一層の推進を図るため、温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の整備又は公共公益施設の緑化を支援する。

### 事業の要件

- ①一箇所あたりの事業対象面積が500㎡以上かつ、緑化率が80%以上であること
- ②原則、都市公園及び緑地として管理するもの
- ③以上の要件を満たし、合計5箇所以上（重点都市※における事業には適用しない）の公園及び緑地の整備・緑化を行う事業であること

※環境モデル都市等の地区計画の指定により、緑の保全・創出を積極的に行っている都市。  
神戸市は重点都市に該当するため、箇所数要件については適用外。

11

- 公園：しあわせの森（64.5ha）
- 整備箇所：神戸市北区ほか
- 工期：H27～H31
- 整備内容：園路広場、植栽の整備等
- 整備状況：生物多様性のシンボル拠点となる、しあわせの森の新規整備を実施した。



12



### 緑地保全等事業とは

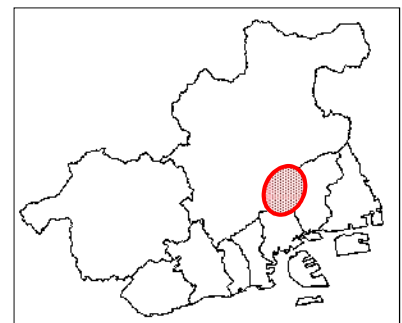
#### 事業概要

都市における緑地の保全を図るために、都市緑地法（昭和48年法律第72号）第12条の規定による特別緑地保全地区内等の土地の買入れ、損失の補償及び保全利用施設の整備を行う事業。

#### 事業の要件

- ①特別緑地保全地区内等の土地で当該緑地の保全上必要がある土地の買入れ
- ②同法第14条第1項の許可が得られないため、損失を受けた者に対する通常生ずべき損失を補償する場合
- ③緑地保全事業における特別緑地保全地区内等、緑地の適正な保全を図るために必要な施設整備

- 区 域：六甲近郊緑地保全区域
- 整備箇所：神戸市灘区・中央区・北区
- 工 期：H27～H31
- 整備内容：ハイキング道再整備
- 対象距離：8.03km
- 整備状況：既存のハイキング道の再整備を進めることにより、市街地に近接したハイキング道の安全性や利便性の向上を図ることができた。



整備前



整備後

## 公園事業特定計画調査とは

### 事業概要

基幹的な公園緑地の配置整備に関する調査  
 先導的・モデル的な公園緑地の配置計画の策定及び都市公園等の整備を推進するための計画調査

### 事業の要件

- ①公園緑地の配置計画の策定に関する計画調査の調査内容
- ②防災性向上や自然環境の保全等に資する都市公園等及びその周辺整備のための整備計画を策定することを目的

- 調査対象：東遊園地
- 整備箇所：神戸市
- 工 期：H28
- 調査内容：再整備に向けた課題整理等

- 成 果：都心・三宮再整備の将来計画を踏まえ、東遊園地の現況課題の整理や今後のあり方検討を行い、東遊園地リノベーションプランを作成。

### 「東遊園地リノベーションプラン」について

- ・東遊園地再整備の将来像・目標
- ・再整備プラン（案）などを策定



東遊園地再整備検討の基礎資料として活用



## 5. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

### I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況 — ①

- ・ 生物多様性の保全等に資する公園の整備を着実にを行い、環境学習やレクリエーションの場として活用できるオープンスペースが確保できた。

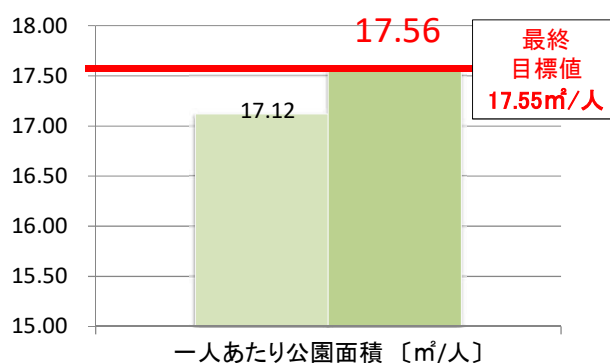
### II 定量的指標の達成状況 — ①

- ・ 生物多様性の保全等に資する公園として、しあわせの森（64.5ha）や海浜公園（0.2ha）の整備を着実にいった結果、一人当たり公園面積が0.44㎡/人増加し、目標の一人当たり公園面積17.55㎡/人を達成した。

（計算式）

$$\frac{(2635.8612\text{ha} + 64.7\text{ha})}{1,537,864\text{人}} = 17.56\text{㎡/人}$$

↓ ↓ ↓  
計画当初公園面積 整備面積 H26時点人口



17

## 5. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

### III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 — ①

- ・ 公園の環境学習の利用機会が増え、令和元年度にはしあわせの森で計4回のイベント（昆虫観察、ハイキング等）を開催し、約100名の参加があった。
- ・ イベント後のアンケートでは、参加者の9割以上の方から回答を頂き、回答頂いた方全員から高評価を得た。
- ・ アンケートでは、「植物についての説明を聞きながら歩くことができ楽しかった。」や「普段なじみのない虫にふれることができ楽しかった。」といったご意見をいただいた。



18



## 5. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

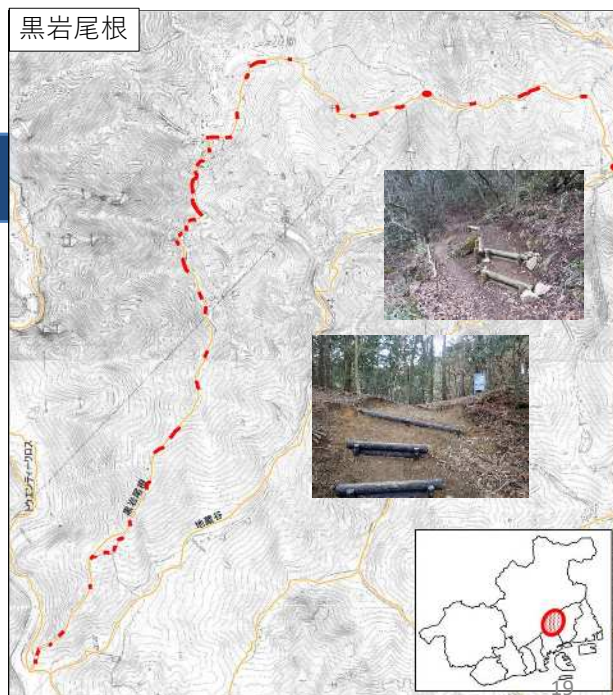
### I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況 ー②

- ・老朽化したハイキング道を計画的に整備することにより、ハイキング道の安全性及び利便性を向上することができた。

### II 定量的指標の達成状況 ー②

- ・近年の登山需要の高まりによる施設の補修要望増加への対応と、全市的なインバウンド戦略の一環としてハイキング道整備を促進した結果、計4路線の安全性・利便性が向上し、施設も充実した。
- ・その結果、ハイキング道の再整備距離が8.03kmとなり、目標値の3kmを大幅に上回った。

年度	工事名	対象地	延長(km)
H27	天狗道整備工事	天狗道	2.9
H28	桜谷道整備工事	桜谷道	1.4
H29	黒岩尾根登山道整備工事	黒岩尾根	3.7
H30	黒岩尾根登山道整備工事	黒岩尾根	
R1	トゥエンティクロス・ハイキング道デッキ改修工事	トゥエンティクロス	0.03(1.0)
	合計		8.03



## 5. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

### III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 ー②

- ・一部のハイキング道をデッキ型構造にすることにより、自然を保全しつつ自然と触れ合える環境を設けることができた。





## 6. 特記事項（今後の方針等）

- ・引き続き、生物多様性の保全等に資する都市公園の整備を行うため、H27～H31の計画期間終了後も再度整備計画※を策定し、継続的に事業に取り組んでいく。
- ・事業の実施にあたっては、国の提唱する「グリーンインフラ」の考え方を取り入れた取り組みを行う。

※「吸収源対策公園緑地事業」はR2年度新設の「グリーンインフラ都市構築支援事業」に統合された

- ・また、六甲山森林整備戦略に基づき、土砂崩壊防止施設の設置等、安全・安心に資する緑地の保全を進めるとともに、森林レクリエーションに資するハイキング道の再整備等を引き続き実施していく。